

ながめま



第 26 回 青年部・女性部通常総会開催

第26回通常総会

1月14日、農協本所大会議室において、JAながめま青年部第26通常総会を開催しました。総会では、令和元年度の事業報告・収支決算報告、令和2年度の事業計画・収支予算や役員改選などについて審議され、原案通りに承認されました。

新部長には、2区中野仁登氏が選出されました。

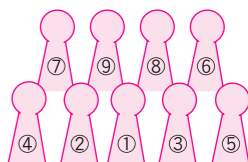
令和2年度の青年部役員は次の通りです。

部長	中野仁登	(2区)	①
副部長	古瀬哲郎	(13区)	②
副部長	坂藤敏宣	(21区)	③
事業部会長	近藤克憲	(29区)	④
事業部会長	角谷孝司	(22区)	⑤
農産部会長	服部俊也	(29区)	⑥
農産副部会長	清水浩希	(5区)	⑦
監事	仲野拓郎	(1区)	⑧
監事	米山拓也	(23区)	⑨
参事	平田教志	(2区)	
参事	鈴木田隆	(27区)	
参事	田中大輔	(5区)	
顧問	問大輔	(5区)	



議長団 7区伊藤拓郎さん(写真左)と6区五十嵐務さん(写真右)

北長沼支部	支部長	石川淳志	(2区)
副支部長	織田真	(7区)	
南長沼支部	支部長	漆原航	(27区)
副支部長	青野弘稔	(24区)	
中央支部	支部長	富澤正義	(13区)
副支部長	成田紘一	(29区)	



就任挨拶

部長 中野仁登

日頃より、我々青年部に対しまして皆様より特段なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、1月14日に開催いたしました第26回通常総会において、令和2年度役員及び事業収支予算についてご承認をいただき、晴れて新体制での出発となりました。

私自身、リーダーシップを発揮して、全力で青年部活動に取組んでいきたいと思っております。

さて、昨年は北海道では大きな災害はなかったものの、全国各地で台風や大雨など、河川の氾濫で大きな災害が多発し、様々な分野に大きな影響を与えました。一日も早い復旧・復興を願うところであります。

営農については、春から天候に恵まれ、農作業は順調に進んだものの、は種時期の干ばつや夏の低温長雨など、肥培管理が難しい年となりました。水稻の作況指数は南空知「104」と

なりましたが、生産現場では作況指数を実感できない状況であり、また、他の作物も概ね順調に収穫を迎えましたが、一部の作物で価格が低迷するなど、豊作の実感をあまり得ることの出来ない年でした。

農業政策につきましては、発行となった「TPP11」等の国際情勢や農業制度改革の動きなど、農業政策をどのように行っていくか注視していく必要があると思います。

このような時代にこそ、生産者としての自覚を高め、様々なことに目を向け自分たちの想いや考えを消費者や関連・上部組織に発信することが重要であると同時に、現状を打破する意気込みをもつことが青年部活動に求められると考えます。

- ① 盟友相互の親睦を深めるとともに変わり行く農業情勢を把握し、地域の担い手として積極的に組織活動を実践する。
- ② 全盟友の力を結集し、地域の活性化に努める。
- ③ 青年部活動を通じて消費者や各関係団体との情報交換に努め、食と農を守るために互いの意識向上を目指す。

これらの目標を達成するため、盟友並びに各関係機関の皆様に対しまして、ご協力・ご支援を賜りますことと、本年度が幸多き豊穡の秋を迎えられますことを祈念いたしまして、就任の挨拶とさせていただきます。



事業部会長 近藤克憲

この度、1月14日に開催いたしました第26回通常総会において、事業部会長を任せていただくことになり責任の重大さを感じています。一年間盟友の皆様にとって意義のある活動ができるように頑張りたいと思います。

さて、事業部では、令和2年度活動方針を以下のとおり掲げます。

- ① 組織活動の強化
- ② 情報活動
- ③ 農業関係誌の購読促進

組織活動の強化では、マオイ夢祭り参加、農協職員との交流会などの活動を通じ、盟友相互の親睦や各関係機関との連携を深めていきたいと考えております。

情報活動では、情報技術プロジェクトによる勉強会や視察研修の開催、情報発信など、スノーメッセージでは、雪山などに私たち青年部の想いを込めた巨大なメッセージを作り、ファームレターでは、写真などにより農業生産者のメッセージを、たくさんの人々にPRをしていきます。

農業関係誌の購読促進では、盟友の皆様に関係誌を購読していただけたように推進してまいります。

これらの活動に対して、盟友並びに各関係機関のご理解を賜りますことをお願い申し上げ就任の挨拶とさせていただきます。



農産部長 服部 俊也

この度、1月14日に開催いたしました第26回通常総会において、農産部長を任せていただくことになり責任の重さを感じ身の引き締まる思いであります。青年部盟友が互いに議論を深め、ながま農業のさらなる発展につながるように努力していきたいと考えております。

さて、農産部では、令和2年度活動方針として以下のとおり事業を取組んでまいります。

令和2年度活動方針

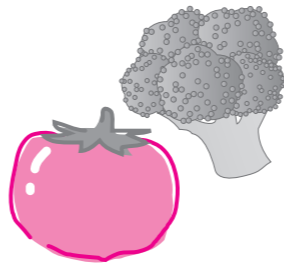
① 農産物付加価値の向上

② 地場農産物の消費拡大活動
農産物付加価値の向上につきましても、農産部プロジェクトを主体に農産物付加価値の向上やながま産農産物のブランド形成事業に努めてまいります。

地場農産物の消費拡大活動においては、野菜直売実行委員長を中心に直売活動などを通じて、安全・安心な「ながま産農産物」を消費者と会話をしながら求められる手法で販売し、新しいことにも挑戦していきたいと思っております。

また、昨年度より実施している町内での食育事業についても、積極的に活動してまいります。

最後に盟友並びに各関係機関の皆様のご協力を賜りますことをお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。



女性部情報ネットワーク

第26回通常総会開催

1月15日、農協本所大会議室において、JAながま女性部の第26回通常総会が開催されました。

総会は荒井部長の開会挨拶に始まり、成田組合長、齋藤副町長よりご祝辞を賜った後、令和元年度事業報告・収支決算・令和2年度事業計画・収支予算や役員・理事改選などの議案について審議され、原案通り承認され、総会は無事に終了いたしました。また今季で退任されます荒井部長と神田顧問に花束が贈られました。

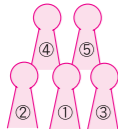
午後からは、札幌より講師を招き「笑ヨガ」を行いました。笑ヨガとは、誰でもできる笑の体操とヨガの呼吸を組み合わせた健康体操であり、笑うことで若返りホルモンや幸せホルモンが出ます。新年にふさわしい講習会になりました。その後、新春抽選会、生活展、断捨離交換会を開催し楽しい新年を過ごしました。



花束の贈呈

令和2年度の女性部役員は次の通りです。

- 部長 大野佐智子 (23区) ①
- 副部長 桃野千恵子 (9区) ②
- 副部長 服部まゆみ (29区) ③
- 監事 加藤 民子 (18区) ④
- 監事 杉本 恵 (28区) ⑤



フレッシュユミズ 新年交流会

1月21日、農協にてフレッシュユミズ部の新年交流会が開催され部員18名が参加しました。本年度部会長の13区古瀬由香さんより「皆さんが楽しく参加できるように企画しますので、よろしくお願います」と挨拶をいただき、その後皆さんで自己紹介をしまし



ライラック部会 「つまみ細工でブローチ作り」

た。本年は新規部会員が3名入部しました。交流会後には、アロマワックスでインテリア小物作りを行いました。みなさん始めてのことでしたが、とても上手に出来ました。

1月23日、部員26名が参加しました。

ピンセットを使つての細かい作業に苦戦しながらも、土台に一つひとつちりめんの布地を折りたたんだ花びらをつけていくと、オリジナルの花が出来上がりました。



農業・農協のイマがわかる

『地上』を通してつながろう！

別冊付録

JA自己改革

① 農業者の所得増大 ② 農業生産の拡大 ③ 地域の活性化

の推進に役立つ情報満載！

地域農業の担い手に

JA青年組織盟友に

JA役職員にも

JAグループ 家の光協会

読者と編集部が交流するフェイスブック

お問い合わせ 営農企画課 TEL 88-2232

TEL 162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11
TEL 03-3266-9039 <http://www.ienuhikari.net>

平成30年産 大豆精算について

平成30年産北海道産大豆の作付面積は、前年産を900ha下回る40,100haとなりました。さらに10a当たりの収量が前年産比84%の205kg/10aと減少したことから、収穫量は前年産に比べ18,200トン下回る82,300トンとなりました。

・入札販売

平成30年産の収穫後入札取引は12月から7月までの計8回実施され、大粒とよまさり132,548俵・小粒ユキシズカ17,146.5俵など合計201,757俵上場し、大粒とよまさり96,205俵・小粒ユキシズカ16,383俵など合計133,903俵が落札されました。落札率は前年産より39%高い66%となりました。

・契約栽培

契約栽培取組数量は577,258.5俵となりました。当初委託申込み数量1,143,552俵に対して50%の取組割合となりました。

入庫後、銘柄によって数量不足が発生し、その調整を実施したことにより、契約栽培実績は当初取組より減少し541,840俵となりました。

・相対販売

落落札残や端数ロット、その他銘柄、需要拡大先メーカー向け販売等について、203,091俵の販売推進を実施し、北海道産大豆の需要拡大を図りました。

近年の北海道産大豆の安定供給により、道産大豆の需要が増加傾向にある中、生産量は前年から大きく減少しました。しかしながら29年産の市中在庫が潤沢にあったことと販売調整により、道産大豆需要は概ね維持されております。全国的な不作等により落札率・価格とも昨年より高い結果となり、9月末を以て全量販売完了いたしました。

平成30年産大豆精算内訳

単位:60kg/円(税込)

銘柄	品種	粒度	等級	品代		
とよまさり	トヨムスメ	大粒	2等	7,999		
			3等	7,759		
			合格	7,519		
		中粒	2等	7,757		
			3等	7,517		
			合格	7,277		
小粒	合格	6,563				
	大粒	2等	7,533			
		3等	7,293			
合格		7,053				
とよまさり	ユキホマレ	中粒	2等	7,291		
			3等	7,051		
			合格	6,811		
		小粒	合格	6,097		
			とよみづき	大粒	3等	6,546
				中粒	3等	6,304
小粒	合格	5,350				
ユキシズカ	ユキシズカ	小粒	2等	12,792		
			3等	12,552		
			2等	12,550		
		極小粒	2等	12,550		
			3等	12,310		

※1円未満切捨て標記

長沼町園芸組合連 合会 定期総会



長沼町園芸組合連合会 川浦会長

1月24日、長沼町園芸組合連合会定期総会が多くの会員の出席と道内外からのご来賓者を迎え盛大に開催されました。
 本年は、作物の肥培管理の難しい気象条件の中で、20億円を超える取扱いとなりました。
 総会の中では、各担当職員から新年度の取扱目標を説明され、全ての議案が承認されました。終了後の懇親会での抽選会も盛り上がり、新たな年の門出を祝いました。

トマト生産組合、ブロッコリー生産組合 定期総会



トマト生産組合 熊谷組合長

1月16日に園芸連トマト生産組合、1月17日には園芸連ブロッコリー生産組合の定期総会がそれぞれ開催されました。
 トマト生産組合が5.9億円、ブロッコリー生産組合は目標を大きく

各生産組織では、日頃お世話になっている取引先を招き、順次定期総会が開催され、令和元年実績報告と令和2年取扱計画の協議をし、また総会後には生産者相互さらにと取引先との親睦を深めようと懇親会が催されています。



ブロッコリー生産組合 坪井組合長

超える7.5億円の取扱報告がなされました。
 総会終了後に行われた懇親会では、抽選会が催され会場は大いに盛り上がりました。

令和2年度の事業推進員の皆さんです よろしくお願いたします (敬称略)

区	事業推進員	区	事業推進員	区	事業推進員	区	事業推進員
1区	北原 功治	9区	工藤 徳久	17区	山田 誉	25区	東山 哲智
2区	玉手 勇一	10区	上田新太郎	18区	畠 雄二	26区	原 信宏
3区	長岡 一郎	11区	奥村 芳樹	19区	津島 正行	27区	漆原 衛
4区	桂 寿昌	12区	記虎 将吾	20区	安宅 純一	28区	近藤 元
5区	仲野 道一	13区	松本 稔	21区	細川 隆幸	29区	坂井 勇一
6区	井形 聡	14区	南 貴文	22区	宇野 尚憲	30区	遣田 尚希
7区	谷口 和秀	15区	加藤 栄吉	23区	高橋 浩	31区	須藤 淳
8区	越路 速人	16区	中川 大輔	24区	新谷 聡	市区	黒田 正人

4. 施肥設計（道施肥ガイド）

※ 基肥施肥窒素量の上限の目安は一般品種の標準施肥量に+3kg

慣行栽培 (株間14cm程度) の施肥設計	(1) 標準施肥 収量水準 510kg → 施肥窒素増肥で540kg/10a以上				
	土壌条件	窒素量 (kg/10a)		同左を配分	
		一般品種	そらゆき	全層	側条
	低地土(乾)	8.5	11.5	8.5~7.5	3~4
	低地土(湿)	8.0	11.0	8~7	3~4
	泥炭土	6.5	9.5	6.5~5.5	3~4
	火山性土	9.0	12.0	9~8	3~4
	台地土	8.0	11.0	8~7	3~4
	(2) 培養窒素高い土壌(生育旺盛になりやすい土壌)の場合				
	土壌条件	培養窒素 (mg/100g)	窒素量 (kg/10a)		同左を配分
そらゆき			全層	側条	
低地土(乾)	14.0~	9.5	5.5~6.5	3~4	
低地土(湿)	16.0~	9.0	5~6	3~4	
泥炭土	16.0~	7.5	3.5~4.5	3~4	
火山性土	15.0~	10.0	5~6	3~4	
台地土	11.5~	9.0	5~6	3~4	

疎植栽培 (株間26cm程度) の施肥設計	土壌条件	窒素量 (kg/10a)		同左を配分	
		一般品種	そらゆき	全層	側条
	低地土(湿)	8.5	11.5	7.5	4
	低地土(湿)	8.0	11.0	7	4
	泥炭土	6.5	9.5	5.5	4
	火山性土	9.0	12.0	8	4
	台地土	8.0	11.0	7	4

5. 5月20日移植へのスケジュール(例)

種子予措(浸種開始 4/11 浸種期間 6~7日 催芽 4/18)

は種(4/18~20)

耕起(5/1)

全層施肥(5/5)

整地(5/6)

代掻き(5/15)

移植・側条施肥(5/20)

初中期一発除草剤処理(移植後5日以内 5/25)



水稻疎植栽培技術について

「そらゆき」疎植栽培にかかる4カ年の現地実証結果

水稻「そらゆき」の特性に対する施肥と疎植栽培のメリットとリスクへの改善策
目標収量 540kg/10a以上

1. 品種の長所と短所

品種の長所	<ul style="list-style-type: none"> ① 「きらら397」「ななつぼし」より多収 ② いもち病に「きらら397」「ななつぼし」より強い ③ 耐冷性が「きらら397」より強い ④ 「きらら397」「ななつぼし」より割籾が少ない
品種の短所	<ul style="list-style-type: none"> ① 草丈・稈長が長く耐倒伏性が劣る ② 初期の分けつ性が劣る



2. 品種概要

「そらゆき」の成熟期の穂数は「ななつぼし」より多く「きらら397」より少ないが1穂粒数が「きらら397」より多い。このため、㎡あたり粒数が多くなり、さらに、千粒重が大きいことなどから多収となる。

適正粒数は35,000粒/㎡(上限は40,000粒/㎡)とされている。このため、基肥施肥窒素量の上限の目安は一般品種の標準施肥量に+3kgとしする。

栽植密度23株/㎡(株間13cm以下)以上や土壌肥沃度水準が高い土壌では、倒伏を考慮して全層施肥窒素量を調整する(標準施肥量に+0~2kg)。

3. 疎植栽培によるメリット(優位性)および栽培リスク(危険度)への改善策

※ 長沼町における「そらゆき」疎植栽培にかかる4カ年の現地実証結果と北海道指導参考事項より

メリット(優位性)	<ul style="list-style-type: none"> ① 育苗箱数を4~5割削減できる(育苗および移植作業軽減) (同じ育苗箱数であれば移植面積を4割程度増やせる) ② 既存成苗田植機で利用可能(ギア交換のみ)で倒伏軽減効果が高い
栽培リスク(危険度)と改善策	<ul style="list-style-type: none"> ① 慣行栽培より7月20日頃の茎数より成熟期の1株穂数が有効化しやすく穂揃い悪い 出穂期および成熟期は1~4日遅れやすい → 移植は5月20日頃まで ② 疎植栽培に向けた栽植密度は、生育量(収量構成要素)および育苗コストを考慮する 株間26cm(11.7株/㎡)が望ましい ③ 収量540kg/10a以上へは、㎡穂数500本、㎡稔実粒数30,000粒以上の収量構成要素 確保へは初期㎡茎数確保が重要(可能な限り慣行栽培並みへは) 側条施肥は必須 ④ 初期生育促進、初期茎数確保へ側条窒素施肥量は、4kg/10a以上を目安に ⑤ 「ななつぼし」に比べ登熟にやや時間を要するので、出穂期後の日平均気温積算値 1,100℃が収穫適期の目安 玄米品質判定を必ず行い適期収穫

労災保険に加入しましょう

農作業での死亡事故は北海道で年間20件前後、負傷事故は2,000件前後発生しています。万が一の事故にそなえて労災保険に加入しましょう。

労災保険は、本来、労働者の負傷、疾病、傷害、障害、死亡などに対して保険給付を行う制度ですが、労働者以外の方であっても、その業務の実情や災害の発生状況などからみて、特に労働者に準じて保護する必要があると認められる一定の方々に対して特別に任意加入を認めています。

	特定農作業従事者	指定農業機械作業従事者
加入条件	■年間の農業生産物総販売額300万円以上または経営耕地面積2ヘクタール以上の規模で、①土地の耕作、開墾②植物の栽培、採取③家畜の飼育の作業を行う自営農業者。(労働者以外の家族従事者を含みます)	■自営農業者(労働者以外の家族従事者を含みます)であって指定農業機械を使用し、土地の耕作、開墾または植物の栽培、採取を行う者。
作業限定	■農業者が、農作業場で行う耕作などの作業(「土地の耕作や開墾」、「植物の栽培や採取」、「家畜(家きんやみつばちを含む)や蚕の飼育作業」)のうち、次のア～オのいずれかに当たる作業を行う場合(その作業に直接付帯する行為を含む) ア 農作業場で動力により駆動する機械を使用している作業 イ 農作業場の高さが2メートル以上の箇所で行う作業 ウ 農作業場の酸素欠乏危険場所(サイロ、むろ等)で行う作業 エ 農作業場において農薬を散布する作業 オ 農作業場において牛・馬・豚に接触し、または接触するおそれのある耕作等作業。 ※家畜は牛・馬・豚であり、羊・鶏は含みません。 ※鎌・包丁によるブロッコリー等の収穫作業中の負傷は補償の対象となりません。	■農業者が、ほ場またはほ道の作業場において指定農業機械を使用して行う作業及びこれに直接付帯する行為を行う場合。(機械の種類) ①動力耕うん機その他の農業用トラクター ②動力溝掘機 ③自走式田植機 ④自走式スピードスプレアー その他の自走式防除用機械 ⑤自走式動力刈取機、コンバインその他の自走式収穫用機械 ⑥トラックその他の自走式運搬用機械 ⑦次の定置式機械または携帯式機械 ・動力揚水機 ・動力草刈機 ・動力カッター ・動力摘採機 ・動力脱穀機 ・動力剪定機 ・動力剪枝機 ・チェーンソー ・単軌条式運搬機 ・コンベヤー ⑧無人ヘリコプター(農薬、肥料、種子もしくは融雪剤の散布または調査に用いるものに限る) ■農業者が指定農業機械をほ場などの作業場と格納場所との間において、運転または運搬する作業(苗、防除用薬、堆肥などを共同育苗施設などからほ場などの作業場へ運搬する作業を含みます。)及びこれに直接付帯する行為を行う場合。
保険料等の額 (令和2年1月末現在)	■保険料等の額は給付基礎日額1,000円に対し、3,650円になります。 ■給付基礎日額とは、労災保険の給付額を算出する基礎となるものです。特別加入を行う方の所得水準に見合った適正な額を申請していただき、所轄の労働基準監督署を経由して北海道労働局長が承認した額が給付基礎日額となります。(給付基礎日額は3,500円、4,000円、5,000円、6,000円、7,000円、8,000円、9,000円、10,000円、12,000円、14,000円、16,000円、18,000円、20,000円、22,000円、24,000円、25,000円のいずれかとなります)	■保険料等の額は給付基礎日額1,000円に対し、1,460円になります。

補償対象作業の範囲が広い「特定農作業従事者」への加入をおすすめします。
加入・脱退・日額変更の手続きは、農協取引印ご持参の上、2月28日までに本所営農企画課へお申込みください。

雇用労働者の労災保険加入手続きはお済みですか？

以下の農業経営形態の場合、雇用労働者(アルバイト・パート含む)の雇用労働者の労災保険加入手続きを行わなければなりません。

- 法人経営を行っている場合
- 個人経営で、5人以上の労働者を常時雇用している
- 個人経営で、労働者を雇用しており自らが農業労災に特別加入手続きをしている

事業主が故意または重大な過失により加入手続きを怠っていた期間中に事故が発生し、労災保険が給付された場合、事業主は遡って労働保険料と併せて追徴金が徴収されるほかに、労災保険給付に要した費用の全部または一部を徴収することになります。

～詳しくは本所営農企画課へご相談ください～

万が一、農作業事故にあってしまったら…

万が一、労災の補償の対象となる範囲で農作業中に事故にあいケガをされた場合には、なるべく早く病院・薬局で受診し、労災保険で手続きする旨を申し出てください。(健康保険を使用しないように気をつけてください)

その上で、ご本人またはご家族の方が農協の営農企画課まで給付請求する旨の連絡をしてください。給付請求書がありますので必要事項を記載し、病院・薬局に提出していただくようになります。

(給付請求が遅れ、月をまたいだ場合や誤って健康保険を使用した場合、請求者の方の手続きが大変煩雑となりますのでご注意ください)



お問い合わせ：本所 営農部 営農企画課 TEL 88-2232

JA組合員のみなさまへ

2019年7月版

農業者賠償責任保険のご案内

入って安心!



賠償責任保険普通保険約款+事業活動特別約款(農業者賠償責任保険用)+農業者特約

農業者賠償責任保険とは・・・

農業において発生する様々な法律上の賠償責任リスク(施設リスク・生産物リスク・保管物リスク)をカバーする農業者向け専用商品です。特約(生産物品質特約)を任意に付帯することによって残留農薬に関するリスク(回収費用)もカバーできます。この保険はJAを保険契約者とし、組合員である農業者・認定農業者(個人・法人)・集落営農組織(法人)を加入者(被保険者)とする団体契約です。

○農業者賠償責任保険で保険金支払の対象となる事故例は次のとおりです。

施設リスクの事故例

- ◇薬剤散布中、隣家の畑の作物に薬剤が飛散し出荷できなくなった。
- ◇薬剤散布中、隣家の車に薬剤が付着し腐食させた。
- ◇畦(あぜ)の草刈中、小石をはねて通行人にケガをさせた。
- ◇出荷用ダンボール箱が崩れ、近くにいた隣家の子供がケガをした。
- ◇飼育中の牛が逃げ出して通行人に体当たりし、ケガを負わせた。

生産物リスクの事故例

- ◇出荷した野菜に金属片が混入していたため、サラダとして食べたお客様が口の中を切った。
- ◇直販所で販売した生産物に細菌が付着していたため、それを食べたお客様が食中毒になった。



保管物リスクの事故例

- ◇他人から預かった農産物を納屋に保管中、泥棒に盗まれた。
- ◇借用農機具を納屋に保管中、火災で焼失した。



生産物品質特約の事故例

- ◇出荷した農産物から基準値を超える残留農薬が検出され、法令等により当該農産物を回収する必要が生じた。

○補償パターンと保険料例

(保険期間1年)

農地面積	期間中支払限度額 3,000万円コース		期間中支払限度額 5,000万円コース		期間中支払限度額 1億円コース	
	基本契約のみ	基本契約 + 生産物品質特約	基本契約のみ	基本契約 + 生産物品質特約	基本契約のみ	基本契約 + 生産物品質特約
0.5ha 未満	6,380円	7,380円	8,200円	9,200円	11,850円	12,850円
0.5ha 以上～1ha 未満	8,580円	9,580円	10,560円	11,560円	14,370円	15,370円
1ha 以上～2ha 未満	9,900円	10,900円	12,020円	13,020円	16,030円	17,030円
2ha 以上～4ha 未満	12,100円	13,450円	14,480円	15,830円	18,880円	20,230円
4ha 以上～20ha 未満	20,130円	22,830円	23,490円	26,190円	29,360円	32,060円
20ha 以上～50ha 未満	52,160円	57,560円	59,860円	65,260円	72,360円	77,760円
50ha 以上～500ha 未満	102,610円	108,010円	117,490円	122,890円	141,110円	146,510円

★このチラシは農業者賠償責任保険の概要を説明したものです。特約の支払限度額をはじめ、詳細につきましてはパンフレット【農業者賠償責任保険】(PE101400)をご参照ください。

★お問い合わせは・・・

<取扱代理店>

JA ながぬま 共済課

住所：北海道夕張郡長沼町銀座北1丁目5番19号

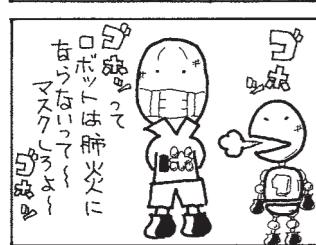
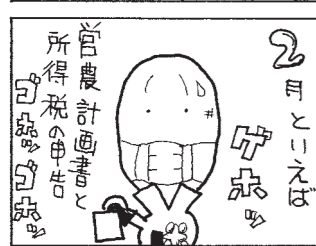
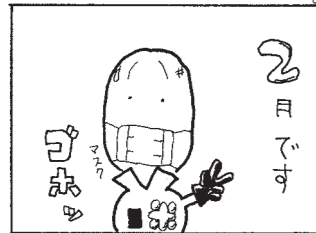
電話：(0123) 88-2225

<引受保険会社>

共栄火災海上保険株式会社 北海道支店岩見沢支社

住所：北海道岩見沢市5条東5-2(佐川ビル内)

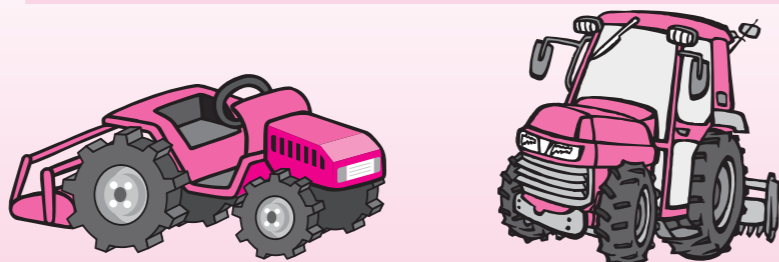
電話：(0126) 23-3049



農機具展示即売会 の開催について

組合員の皆様のニーズに応えるべく、安価な商品と情報の提供を目的として、農機具、副資材の展示即売会を開催いたしますので、多数の皆様のご来場をお待ちしております。

- 日時 令和2年3月6日(金)
午前9時～午後3時
- 場所 ながめま農協資材センター構内
お問い合わせ TEL88-2407



JAグループ北海道は、「令和2年産の畑作物作付に向けた10のメッセージ」と「畑作物のGAP」についてパンフレットを作成しました。10のメッセージは、①輪作体系の確立、②需要動向を踏まえた生産、③農業諸制度の堅持の3つの観点から、令和2年産の作付にあたって参考としてほしい情報をわかりやすく伝達することを目的としています。畑作物のGAPについては、令和元年度は一部生産者協力のもとプレ実施し、課題や問題点を整理し、令和2年度より本格実施する方針としています。詳細な内容については、今後、連合会やJAを通じてお知らせいたします。10のメッセージや畑作物GAPの具体的な内容については、QRコードよりパンフレットをご確認ください。



JA北海道信連



JAバンクのキャラクター「よりぞう」が、協同組合間連携の取組みの一環として、初めてコープさっぽろ・ろうきんのキャラクターとともに、11月に札幌市内の保育園を訪問しました。また、12月には、「よりぞう」と「ちよリス」が、岩見沢市、滝川市、旭川市の幼稚園を訪問し、子供たちと交流を深めました。地域の皆様に、JAバンクをより身近に感じてもらえるような活動に取り組んでいます。



JA共済連北海道



JA共済連北海道では、2月4日から開催される雪と氷の祭典「第71回さっぽろ雪まつり」の大通り7丁目「HBCポーランド広場」におきまして、令和元年度 JA共済 全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示いたします。

JA共済連北海道は交通事故のない社会の実現に向けて、多くの観光客の方々にも交通安全の大切さを理解していただき、事故の防止につなげていきます。(写真は、今年の会場の様子)



ホクレン



ホクレンは、北海道ぎょれんと“共同制作”したカタログギフト「北の海と大地のギフト」を販売しており、旬の北海道産農畜産物・水産物ならびに、その加工品など北海道産食材の魅力をお届けいたします。カタログを贈られた方が気に入った商品を好きなタイミングで注文できます。価格は1冊5500円(消費税込み、送料除く)。詳しい内容は「ホクレングリーンネットショップ」のWebサイトで閲覧いただけます。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取組み内容はWEBサイトをご覧ください。



特別金利キャンペーン

住宅ローン

住宅の新築に加え、中古住宅購入や修理費用等にもご利用いただけます。

キャンペーン期間

令和2年2月3日(月)～
7月31日(金)まで

キャンペーン金利

3年固定0.5%
5年固定0.9%
10年固定1.0%

更に
3年間は

0.6%
0.7%

教育ローン

入学金・授業料だけでなく、アパート等の入居費用等にもご利用いただけます。

キャンペーン期間

令和2年5月29日(金)まで

キャンペーン金利

変動金利1.7%
固定金利2.0%

マイカーローン

自動車(新車・中古車)の購入に加え、車検や修理費用等にもご利用いただけます。

キャンペーン期間

令和2年2月3日(月)～
7月31日(金)まで

キャンペーン金利

組合員加入+下記①～④いずれか1つの該当で0.5%引下げ
更に、過去マイカーローンをご利用いただいた方は0.05%引下げ
①給与・年金振込 ②JAカードローン
③JAカード(一体型)
④公共料金自動引落

最優遇

変動金利2.0%
固定金利2.5%

1.45%
1.95%

※当JAが指定する保証機関の保証が別途必要となります。
※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

詳しくは金融部融資課までお気軽にご相談ください!
お問い合わせ 金融部融資課 TEL88-2224

理事会報告 - 第14回 -

《令和2年1月20日開催》

[議 案]

- 第1号 信用の供与等の決定について
- 第2号 信用供与限度に係る承認について
- 第3号 定款の一部変更について
- 第4号 職員就業規則、準職員就業規則の一部変更について
- 第5号 人事規程の一部変更について
- 第6号 福利厚生規程の一部変更について
- 第7号 ハラスメント防止規程の一部変更について
- 第8号 懲戒委員会要領の制定について
- 第9号 コンプライアンス・マニュアルの一部変更について
- 第10号 令和元年度決算見込みについて(12月末現在)
- 第11号 役員報酬審議委員の委嘱について
- 第12号 令和2年度役員報酬の諮問額について
- 第13号 組合員の資格変更並びに出資金減口について

[報告事項]

1. 会議行事報告について
2. 土地価格の推移及び令和2年度農地基準価格の設定について
3. 令和2年度クミカン利率について
4. 内部監査報告(金融部、資材部)について
5. その他

以上、すべての議案について審議し原案通り承認されました。

今月の組合員数

組 合 員 1,617名
 正 組 合 員 (851名)
 准 組 合 員 (766名)
 正組合員戸数 697戸

農協の動き 12/16~1/20

12月

16~20日	中央会内部監査(金融部・資材部)	於 農 協
17日	空知管内JA専務会議	於 空知農業会館
18日	長沼町づくり懇談会	於 役 場
19日	青年部との営農懇談会	於 農 協
23日	空知管内JA組合長会議	於 空知農業会館
26日	スイートコーン部会定期総会	於 農 協
27日	インゲン生産組合定期総会	於 農 協

1月

6日	役職員新年交礼会	於 農 協
7日	空知管内JA組合長会豊稔祈願祭・新年交礼会	於 岩見沢市内
8日	新・旧役員新年交礼会	於 農 協
9日	長沼町交通安全祈願祭	於 長 沼 神 社
9日	キタアカリ部会定期総会	於 農 協
9~10日	空知管内JA冬期監事研修会	於 岩見沢市内
10日	米の生産の目安に係る地区代表者会議	於 農 協
10日	事業推進員会議	於 農 協
10日	南瓜生産組合定期総会	於 農 協
10日	長沼町新年交礼会	於 町 民 会 館
14日	JA青年部通常総会	於 農 協
14日	アスパラ部会定期総会	於 農 協
14日	いちご部会定期総会	於 農 協
14~17日	営農説明会	於 各地区会館
15日	JA女性部通常総会	於 農 協
15日	白菜部会定期総会	於 農 協
15日	契約スイートコーングループ定期総会	於 農 協
16日	トマト生産組合定期総会	於 農 協
16日	長葱生産組合定期総会	於 農 協
17日	千歳川治水対策促進期成会役員会・総会	於 役 場
17日	ブロッコリー生産組合定期総会	於 農 協
20日	総務経済対策委員会	於 農 協
20日	理事会	於 農 協
20日	監事会	於 農 協
20日	子会社経営協議会	於 農 協
20日	役員協議会	於 農 協

グリーン・ツーリズム

会員 募集中

農家民宿や 農業体験を行う農家を 募集中です

長沼町には、修学旅行生を中心に 年間約1,500名が来町しております

長沼町の魅力を伝え、子ども達の 思い出作りに参加しませんか？

お問い合わせ先

長沼町グリーン・ツーリズム運営協議会事務局

◆長沼町産業振興課グリーン・ツーリズム推進室 電話88-2111
 ◆JAながめま営農部営農企画課 電話88-2232